

# KURU **鯉** **恋こい** Nursing

No.

# 14

祝 第54回卒業式

平成31年3月1日



## 54回生卒業に向けて



第54回生の皆さん、卒業おめでとう。卒業式ではたくさんの笑顔と感激の涙が印象的でした。謝恩会で観た皆さんの発表は、教員への感謝にあふれていて感動的でしたよ。私が皆さんへ贈った言葉「和顔愛語(LOVEandSMILES)」をいつも実践してください。

“クレカン54回生”として、自負と自信、そして愛と笑顔があれば困難があっても絶対大丈夫です。『大丈夫だから!』という私からのメッセージを困ったときに思い出してください。そして、皆さんの職場で働いている“クレカン卒業生”と連携し、“クレカン卒業生でない”看護師さんとは友達となって、楽しくてやりがいのある職場を作ってください。

国立病院機構呉医療センター附属呉看護学校 学校長  
呉医療センター・中国がんセンター 院長

谷山 清己

# オープン スクール



赤ちゃんの着替えや抱っこは意外に難しい!?



看護って楽しい!面白そう!怖い部分も!!



## 1年生



入学してから1年間でテストや実習、行事等があり、講義開始前や放課後を使いテスト勉強や技術練習をし、乗り越えてきました。戴帽式では、一人一人が看護師になることの自覚や責任感を改めて感じ、理想の看護師像を描き、目標とすることを誓いました。これから本格的な実習も始まり、今以上に忙しくなりますが、56回生全員で乗り越えていきたいです。



呉看護学校に入学して、1年が経ちました。この1年間は山のようなテストと初めての実習、実技試験が続き、必ず乗り越えなければならない壁が私達の目の前には常にありました。戴帽式で、私達のなりたい看護師像を改めて意識し、看護師になるための決意を誓いました。様々な壁にぶつかり、挫けそうになることがこれから先起こるかもしれませんが、56回生みんなで乗り越えていきたいと思います。

## 56回生 戴帽式



ナイチンゲール誓詞や決意の言葉は胸に響きました。キャップの重みをかみしめています。



### 戴帽式委員

ナースキャップを戴き、56回生全員で誓いの言葉を唱え、改めて看護師になる決意を固めました。今後は、周りへの感謝の気持ちや初心を忘れず、仲間と共に日々精進していきたいです。



# 2年生 採血演習



# 学会参加

人と防災未来センターの見学を通し、震災の経験と教訓を後世に伝える取り組みに感銘を受けました。



日本全国の国立病院機構の職員の多さに驚きました。先生の示説や口演は興味深く聴講できました。



初めての採血の演習！  
血管模型を相手に悪戦苦闘!!

血管に入り、採血できたら緊張が緩みほっと一息☆  
\*臨床の看護師さんたちは、こんな時代があったことを懐かしく思い出されることでしょう。



# 3年生 出陣式

出陣式、「だいじょうぶ だいじょうぶ」今までの自分にしっかりと語りかけましょう。学校長先生の魔法のような激励の言葉を戴きました。

学校職員から、心のこもった激励の品、験担ぎの“よろこんぶ”一人一人に受験票とともに手渡されました。

# 卒業前演習



絶対合格!



いよいよ試験会場へと出発します。激励のメッセージの添えられたお守りを携え、教員、下級生に見送られ、これまでの学習の成果を発揮してきます。



# 国家試験



谷山学校長先生  
ありがとうございました

# 卒業生より



## 杉野 加奈 4B病棟

4B病棟に配属されて2年目となりました。

4B病棟は小児科と内分泌糖尿病内科の混合病棟であり、成人だけでなく小児と関わる事ができるため、幅広い看護を学ぶことができます。最初の半年は仕事を覚えるので精一杯でしたが、現在は少しずつではありますが、知識・技術が身に付き、患者さんやご家族の訴えを聞き、看護に活かせるようになってきたと感じています。

子供達の元気な声を聞き、患者さんの笑顔を見て、そんな患者さんの一番身近な看護師という職業は素敵な仕事だな、と感じています。もちろん楽しいことばかりではなく、辛いことや不安なこともあります。同期や先輩方に支えられ、日々仕事に励んでいます。



## 上野 真依 9B病棟

私は9B病棟で働き始めて2年を終えようとしています。9B病棟は血液内科で、主に白血病や悪性リンパ腫に対して抗がん剤治療、造血幹細胞移植を行っています。1年目のころはわからないことも多くありましたが、先輩方に優しく教えていただいたことで成長することができました。

病棟はスタッフみんな仲が良く働きやすい職場です。患者さんからも日々たくさんの笑顔と元気ももらい、毎日楽しく働いています。私は4月で働き始めて3年目になりますが、これからもわからないことはそのままにせず先輩に相談し、学びを深めていきたいと思っています。そして日々の患者さんとの関わりを大切に、自分の目指す看護師像に少しでも近づくことができるように努力していきたいと思っています。



## 梅木 美香 7B病棟

私は看護師3年目を終えようとしています。3年目は日々のリーダーやプリセプターを務め、様々な経験を積み、看護師として出来ることが増えていることを実感しています。また、重症患者を看護する機会も増え、応用力を身につけるため更に知識・技術を高めるよう学習に取り組んでいます。ここまで成長できたのは、先輩方の支えはもちろんですが、患者様やご家族から学ばせていただく事が多いと感じています。自分が悩んでいる時や落ち込んでいる時には同期に話を聞いてもらうことも励みになりました。辛いことや、逃げ出したくなる時もありますが、私は気分転換にバレーボールなどもしています。色々な人たちとの交流を通し、視野が広がり楽しみも増えました。みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



## 岡本 祥乃 6A病棟

私は6A病棟で、先輩方にたくさんサポートしていただいたことで、急性期の周手術期看護を学び、患者さんと関わり、看護の楽しさや難しさなどたくさん学んだ1年間でした。わからないことだらけでつらい時期もありましたが、先輩方のサポート、同期の支えがあって大きく成長することができました。患者さんとの関わりを通して自分の行う看護の責任感、仕事のやりがいを感じながら働く事ができています。

丁寧にご指導して下さる先輩方、明るい同期に恵まれた6A病棟の環境で、2年目に向けて知識を深め、患者さんへよりよい看護を提供していけるよう、頑張っていきたいです。

## 編集後記

卒業生の皆さん お元気ですか？

呉看護だより、第14号を発行することができました。「和顔愛語」や「竹有上下節」といった言葉で折に触れ、学生達に学びの姿勢を諭して下さった学校長先生が退職の日を迎えられました。呉看の行事にはいつもご参加下さり、学生を激励し、勇気づけて下さいました。ありがとうございました。先生のご健勝とご多幸をお祈りします。

下記のアドレスにご意見や感想をお送り下さい。

編集長：伊藤 由紀枝

編集委員：1年生：河本 夏子・和田 瑞希・音藤 奈々子・谷沢 麟

2年生：野本 瑞希・山本 雄大・鉄原 奈那子

3年生：田原 あかり・山村 莉加・永倉 樹菜・渡邊 奈乃

